

大山地区社会福祉協議会の状況

令和5年4月現在

設立年月

H16. 10. 26

会 長	池田繁弘		副会長	山森 潔 斉木 満	
事務局 所在地	地区センター内 ・ 公民館内 ・ その他 (会長、事務局長宅等) ○をお願いします				
事務局 TEL		事務局 FAX		事務担当	池田繁弘
人 口	545 人	世帯数	257 世帯	高齢化率	52.5 %
当年度 予算額	円	年間会費 (1世帯)	円		
主な活動等	<u>1. 三世代ふれあい交流会（年1回）</u>				
	12月に3世代が集まり、催し物でふれあいを楽しむ。				
	<u>2. 配食サービスの実施（年2回）</u>				
	75歳以上の一人暮らし高齢者を対象とし、民生委員とボランティアで連携し、お弁当を届けた。その際にお話をして日常の困りごとを聞いている。				
	<u>3. ふれあいケアネット活動（随時）</u>				
主な活動等	民生委員・福祉推進員が中心となり、対象者の方々にチームを組んで見守り、声かけ等活動を行っている。年4回情報交換会を行い、対象者の様子や支援の仕方について情報の共有を行っている。				
	<u>4. 広報紙の作成（年1回）</u>				
	地区社協で活動したものを掲載し、地区に全戸配布している。				
					
	三世代ふれあい交流会				
主な活動等					
	配食サービス				
	会長のメッセージ				
	大山地区では、市内で最も高齢化が進んでおり、かつ、人口も減少してきている。いままで活動された方々が、逆に見守られる側に立つことになり、次代の活動の担い手が少なく、他の自治組織も運営について苦慮している。特に、コロナウィルス渦により、顕著になってきたと感じる。地域の皆さんで安心した生活が送れるように、お互いに支え合っていきたい。				